



## 学校教育目標

勤勉で、正直に生き、感謝の心を持った、心豊かで健康な児童を育成する。

やさしく

かしこく

たくましく

もうすぐ立春を迎えようとしていますが、まだまだ寒い日が続きます。太田市内では、またインフルエンザが流行り出しました。引き続き、感染が広がらないように十分な手洗い、うがいといった基本的な感染対策をお願いいたします。



本年度もあと2ヶ月となりました。子どもたちの学級の様子を伺うと、クラスで一年の振り返りをしたり、学年のまとめの学習をしたりする様子もみられるようになりました。ご家庭でも、子どもたちの持ち帰るプリントや作品をみていただき、一言でも声かけ（評価）をしていただき、一年の成長について話し合う機会にしていただければ幸いです。

## 指導と評価について

学校教育では、しばしば「指導と評価の一体化」という言葉を見聞きます。それは、指導したら、評価をする。そして、ゴール（目標）の子どもの姿を考えて、どういう評価規準を設けて指導していくかを考えるということです。指導と評価はいつもセットでないと子どもたちにとって指導効果を高められないと考えます。



そして、評価とは単にAとかBとかCとかいうことだけではありません。声かけをして褒めることだったり、振り返りをさせたり、時に厳しく叱ったり、反省を促したり、やり直しをさせたりすることも評価です。

ですから、指導したらどういう形であれ、できるだけ評価をしてあげる必要があります。もし、評価をしないと指導のやりっぱなしで、子どもたちはできたのか、できなかったのか、良かったのか、不十分なのか、よくわからないこともあります。また、評価されないことで認めてもらえないと感じて次の意欲ややる気も出ません。逆に悪いことを反省する機会を失うこともあります。人にとって、取り組みに対して何の評価も声かけもない無関心が一番気持ちを落ち込ませることになるのではないのでしょうか。幼児が絵を描いて、そばにいる家族に「見て見て」と、何かして「できたできた」と親に褒めてもらいたくてすり寄るのは、自然の成長であり子どもの本能です。

家庭でも、テストが返されたら少しでも見てあげて、良かったら褒める。悪かったら、次は頑張るように応援する。時間があれば少し勉強をみてあげる。または、どうしたらできるようになるか一緒に考えるなどの寄り添いが評価なのではないのでしょうか。忙しいと、どうしても声かけを忘れがちになってしまうことはないのでしょうか。例えば、宿題を「しっかりやりなさい」と声かけ（指導）する。毎日でなくても、少しでも見てあげて「上手ね」「ここ間違ってるよ」「前より丁寧だね」など声かけ（評価）をすることが大切ではないでしょ

うか。図工作品を持ち帰ったら、少しでも見てあげて「何を作ったの」「きれいだね」「よくできてるね」「ここもう少し丁寧だと、もっといいね」などの評価をしていただけると良いのではないのでしょうか。無関心でいると、子どもは「どうせ見てもらえないから・・・」と投げやりになっていくのではないのでしょうか。だんだん、大切なプリントや配布物も見せなくなったり、重大な相談もしなくなったりしたら、大変なことです。

私たち教職員も、できるだけそういったことを意識して日々指導しています。それでもつい評価がおろそかになることもあります。組織として互いに注意し合いながら「指導と評価の一体化」を適切に進めていこうと考えています。

是非、ご家庭でもご協力いただき、共通理解で進んでいっていただければ幸いです。



## ◎3月の行事予定

日	曜	朝行事	校内行事等
1	日		
2	月		学年末事務処理日①
3	火	運動	学年末事務処理日② P T A 新旧本部役員会
4	水	読書	学年末事務処理日③ 読み聞かせ1, 2, 3年こぼと
5	木	清潔検査	学年末事務処理日④
6	金	表彰	学年末事務処理日⑤
7	土		
8	日		
9	月		全校5校時
10	火	運動	
11	水	読書	清掃週間～3/18
12	木	学習	
13	金	学級	
14	土		
15	日		
16	月		全校5校時
17	火	運動	
18	水	読書	大掃除
19	木	学級	
20	金		春分の日
21	土		
22	日		
23	月		卒業式準備
24	火		卒業式
25	水	学級	P T A 会計監査
26	木		修了式 退任式
27	金		学年末休業日
28	土		
29	日		
30	月		学年末休業日
31	火		学年末休業日